

**令和5年度  
事業主雇用実態・意向調査結果**

**帯広・南十勝通年雇用促進協議会**

## 令和5年度 事業主雇用実態・意向調査結果

### 1. 調査目標

季節労働者の雇用状況や事業所の雇用についての意向を把握し、今後の事業展開の基礎資料とするため。

### 2. 調査対象

季節労働者を雇用する事業所

### 3. 調査方法

帯広公共職業安定所よりご提供いただいた季節労働者を雇用している、または雇用していたことがあると思われる当協議会構成地域に所在する事業所及び協議会事業に参加したことがある近隣町村に所在する事業所に調査票、返信用封筒を郵送し調査協力を依頼した。また、未提出の事業所へ事業所訪問の際に直接協力依頼した。

### 4. 実施期間

令和5年6月29日に送付し7月28日を調査期限として実施した。  
また、調査期限以降も事業所訪問時に直接依頼した。

### 5. 回収目標及び回収枚数

回収目標を120社として実施し、97社から回答を得た。(80.8%)

### 6. 調査結果の概要

#### 【事業所の概要】

回答いただいた97の事業所のうち、業種では「建設業（総合工事業）」が49%、「建設業（職別工事業）」が28%と「建設業」が突出する結果となった。

「売上高」の動向では一番多い回答が「横ばい」で前年61%から42%に減少している。また、「減少傾向」は前年23%から39%に増加し「増加傾向」は前年13%から14%になっており、「減少傾向」「横ばい」が増加していることから、厳しい経営状況から大きな改善とはなっていない状況がうかがえる。

経営上の悩みでは「社員の高齢化」18%、「募集しても人が集まらない」16%など人材面での悩みが前年と同じく多い。また、今回は「仕入れ価格上昇」が前年15%から16%に増加しており経営面での大きな負担となっている。

従業員数は「1～5名」が29%、「6～10名」が21%、「11～15名」が9%の順となり、回答いただいた事業所は比較的小規模事業所が多く、従業員数も「10名以下」の事業所が50%占めており、調査を始めて以降、同じ傾向にある。

また、従業員の雇用について「現状維持」が52%と多いが、「拡大」の意向も46%から45%と多い。具体的対策では「ハローワークへの求人」31%、「従業員などへの紹介依頼」25%、「求人情報誌への求人広告」17%と前回の調査結果と同じ傾向になった。

#### 【季節労働者の雇用動向及び通年雇用化について】

回答いただいた97社のうち季節労働者を雇っている事業所は81社(84%)、季節労働者数は496名で、一社平均6.1名であった。

一事業所が雇っている季節労働者数は「6～10名」が一番多く22%、次いで「11～19名」が16%、「2名」と「3名」がともに15%であった。年齢構成は「50代」23%、次いで「60代」21%とベテランが多く「20代」、「30代」の若手は合わせても16%と少ない状況にある。

季節労働者を雇用している理由では「積雪寒冷により事業の継続が困難だから」33%、「特定時期に業務量が増加するから」32%でこの二つが雇用理由としては多く、次いで「本人の希望だから」が24%で例年通りの傾向となった。

今後の季節労働者の雇用について「現状と同程度の雇用を維持する」が73%で一番多く、次いで「雇用を拡大する」が前年32%から22%に減少、「雇用を縮小する」は前年3%から4%に微増であり、雇用維持の方向が示された。

一方、季節労働者の通年雇用化について50%が検討しており、検討していない50%と同数となった。重視することは「必要な技能・資格を有すること」が前年に続き一番多かった。特に必要と考える技能・資格は①車両系建設機械(整地)②小型移動式クレーン③玉かけ④大型特殊免許⑤大型免許などとなった。

過去の通年雇用化について「通年雇用したことがある」が前年の45%から77%と大きく増加した。通年雇用化を行った理由では「いい人材を確保するため」が前68%と前年に続き一番多い結果となった。事業主が求める人材(必要な技能・資格を有すること)育成は、季節労働者の通年雇用化に結び付く大きな要因であり、さらなる技能向上に向けた取り組みが求められる。

また、通年雇用に伴う助成制度の活用では、「第三者に相談し検討」が47%、「自分で調べて検討」26%で合わせて73%が助成金の活用を検討しており、そのうちの89%が「通年雇用助成金」を活用している。また、助成金の相談では「社労士」への相談が64%、「ハローワーク」19%であった。

#### 【協議会及び協議会が実施する事業について】

協議会の存在に対する認知度は全体の93%で前年から大きな変化はない。

事業を利用している事業所は前年25%から29%に、今後利用する予定は5%から4%であり事業への参加、活用についても大きく変化はない。

実施している事業についての設問では、「経営相談事業」について「活用したい」4%、

「活用を検討する」25%と活用希望の回答が多く今後の活用を期待したい。

ただ、前年一番多かった「相談する事柄がない」は25%から9%に減少し、「別機関に相談している」が31%から24%と減少した。このことは協議会として事業所から相談を受けるような関係性があるということであり、さらなる事業所訪問や周知活動の強化が求められる。

「事業主推薦による技能講習」では「参加させたい」26%、「活用について検討したい」30%、合わせると56%と前回調査と同じ状況にあり、事業参加に前向きな回答をいただいているだけに、事業主の意向や通年雇用化に結び付く講習など更なる調査・研究が求められる。今回調査で受講させたい教習は、「車両系建設機械（整地）」「玉かけ」がともに9%（37社）、「小型移動式クレーン」が8%（36社）、「地山掘削及び土止め支保工作業主任者」「チェーンソー」「刈払機」「職長教育」がともに6%（26社）、「不整地運搬車」5%（20社）の順であった。

参加者の拡大に引き続き事業所への聞き取りや調査結果をピンポイントで直接事業所に働きかけていくことが必要になっている。

人材育成事業の新たな事業メニューに向けての意見は少ないが、今後とも事業計画に事業主をはじめ季節労働者、現場の声が反映できるよう取り組んでいかなければならない。

事業主雇用実態・意向調査集計表（令和5年度実施）

問1 貴社（事業所）の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）の所在地はどこですか

1. 帯広市	60	62%
2. 中札内村	1	1%
3. 更別村	4	4%
4. 大樹町	6	6%
5. 広尾町	9	9%
6. 音更町	5	5%
7. 幕別町	4	4%
8. 芽室町	6	6%
9. その他地域	2	2%
10. 無回答	0	0%
	97	100%

(2) 貴社（事業所）の業種は何ですか

1. 農業	4	4%
2. 林業	2	2%
3. 漁業	0	0%
4. 採石業、砂・砂利・玉石採取業	1	1%
5. 建設業（総合工事業）	48	49%
6. 建設業（職別工事業）	27	28%
7. 建設業（設備工事業）	0	0%
8. 食品製造業	0	0%
9. その他製造業	1	1%
10. 電気・ガス・水道業	0	0%
11. 運輸業	5	5%
12. 警備業	1	1%
13. 卸売・小売業	1	1%
14. サービス業	2	2%
15. その他	5	5%
16. 無回答	0	0%
	97	100%

(3) 昨年からの売上高の動向についてお伺いします。

1. 減少傾向	38	39%
2. 横ばい	41	42%
3. 増加傾向	14	14%
4. 無回答	4	4%
	97	100%

(4) 貴社（事業所）が抱えている経営の悩みや問題点についてお伺いします。（複数回答可）

1. 得意先の減少	8	3%
2. 仕事量が不安定	47	16%
3. 仕事の受注などの困難	18	6%
4. 低価格競争の激化	7	2%
5. コストダウンの困難	14	5%
6. 仕入れ価格上昇	47	16%
7. 消費需要の減少による売上減	10	3%

8. 資金繰りの困難	11	4%
9. 消費税等の増税	18	6%
10. 社員の高齢化	54	18%
11. 募集しても人が集まらない	49	16%
12. 採用してもすぐ退職する	8	3%
13. 社会保険加入問題	6	2%
14. その他	2	1%
15. 無回答	3	1%
	302	100%

問2 貴社（事業所）の雇用状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）の全従業員数は何人ですか。（季節労働者を含む）

	全従業員数	2179名
1. 1～5名	28	29%
2. 6～10名	20	21%
3. 11～15名	9	9%
4. 16～20名	4	4%
5. 21～25名	5	5%
6. 26～30名	8	8%
7. 31～35名	3	3%
8. 36～40名	5	5%
9. 41～50名	6	6%
10. 51～60名	4	4%
11. 61～80名	3	3%
12. 81～99名	0	0%
13. 100名以上	2	2%
14. 無回答	0	0%
	97	100%

(2) 今後の従業員数の意向についてお聞かせください。

1. 拡大	44	45%
2. 維持	50	52%
3. 削減	2	2%
4. 無回答	1	1%
	97	100%

(3) 「拡大」「維持」と答えた事業所は対応策としてどのようなことを実施又は検討していますか。

1. ハローワークへの求人	47	31%
2. 求人情報誌への求人広告	26	17%
3. 新聞への求人広告	7	5%
4. 従業員などへの紹介依頼	38	25%
5. 何もしていない	13	9%
6. その他	10	7%
7. 無回答	9	6%
	150	100%

問3 季節労働者の雇用についてお伺いします。

(1) 現在、季節労働者を雇用していますか

1. 雇用している	81	84%
2. 雇用していない	15	15%
3. 無回答	1	1%
	97	100%

(2) 季節労働者を何人雇用していますか。また、年齢層の内訳もご記入ください。

<b>【季節労働者の雇用数】</b>		496 人
1. 1名	10	14%
2. 2名	11	15%
3. 3名	11	15%
4. 4名	5	7%
5. 5名	5	7%
6. 6～10名	16	22%
7. 11～19名	12	16%
8. 20名以上	4	5%
9. 無回答	0	0%
	74	100%

<b>【季節労働者の年齢層】</b>		人 数
1. 10代	5	1%
2. 20代	34	7%
3. 30代	46	9%
4. 40代	69	14%
5. 50代	115	23%
6. 60代	104	21%
7. 70歳以上	87	18%
8. 無回答	36	7%
	496	100%

(3) 貴社（事業所）が季節労働者を雇用している理由についてお伺いします。（複数回答可）

1. 特定時期に業務量が増加するから	41	32%
2. 積雪寒冷により事業の継続が困難だから	42	33%
3. 雇用調整が容易だから	9	7%
4. 人件費が割安だから	3	2%
5. 簡単な仕事内容だから	0	0%
6. 人員の確保が容易だから	0	0%
7. 本人の希望だから	30	24%
8. その他	1	1%
9. 無回答	1	1%
	127	100%

(4) 貴社（事業所）では、今後季節労働者の雇用についてどのように考えていますか。

1. 雇用を拡大する	18	22%
2. 現状と同程度の雇用を維持する	60	73%

3. 雇用を縮小する	3	4%
4. 無回答	1	1%
	82	100%

(5) 現在、雇用されている季節労働者の通年雇用化について検討されていますか。(複数回答可)

1. 検討している	41	50%
2. 検討していない	41	50%
3. 無回答	0	0%
	82	100%

(6) 季節労働者を通年雇用化するにあたり、重視することは何ですか。(複数回答可)

1. 必要な技能・資格を有すること	27	21%
2. これまでの勤務成績が良好であること	23	18%
3. 職場でリーダーシップを発揮できること	11	9%
4. 本人の希望が強いこと	20	16%
5. 経験・実績	13	10%
6. 人格・性格	20	16%
7. 若年であること	11	9%
8. その他	1	1%
9. 無回答	0	0%
	126	100%

(7) 雇用する季節労働者を通年雇用化する上で、貴社が必要と考える具体的な技能・資格について伺います。(複数回答可)

1. 大型免許	9	8%
2. 大型特殊免許	10	8%
3. 大型2種免許	1	1%
4. けん引免許	0	0%
5. 普通2種免許	2	2%
6. 中型免許	6	5%
7. フォークリフト	4	3%
8. 車両系建設機械(整地等)	16	13%
9. 車両系建設機械(解体)	4	3%
10. 小型移動式クレーン	14	12%
11. 玉掛け	13	11%
12. 高所作業車	8	7%
13. 不整地運搬車	4	3%
14. はい作業主任者	2	2%
15. 足場の組立て等作業主任者	4	3%
16. コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	0	0%
17. 地山掘削及び土止め支保工作業主任者	4	3%
18. 2級土木施工管理技士	8	7%
19. 2級建築施工管理技士	4	3%
20. 危険物取扱者乙種4類	0	0%
21. その他	5	4%
22. 無回答	1	1%
	119	100%



問4 貴社（事業所）における季節労働者の通年雇用化の状況についてお伺いします。

(1) 貴社（事業所）で過去に季節労働者を通年雇用にしたことがありますか

1. 通年雇用にしたことがある	75	77%
2. 通年雇用にしたことはない	21	22%
3. 季節労働者を雇ったことがない	0	0%
4. 無回答	1	1%
	97	100%

(2) 通年雇用化した際の理由は何ですか

1. 通年雇用している労働者の退職に伴う補充のため	7	9%
2. いい人材を確保するため	51	68%
3. 業務が平準化したため	9	12%
4. 新分野進出、経営の多角化が軌道に乗ったため	2	3%
5. その他	6	8%
6. 無回答	0	0%
	75	100%

(3) 通年雇用に際し、助成制度の活用を検討しましたか

1. 自分で調べて検討した	20	26%
2. 第三者に相談し検討した	36	47%
3. 検討しなかった	19	25%
4. 無回答	1	1%
	76	100%

具体的には

1. ハローワーク	7	19%
2. 社労士	23	64%
3. その他	0	0%
4. 無回答	6	17%
	36	100%

(4) 検討した結果、通年雇用奨励金などの助成制度を活用しましたか

1. 通年雇用奨励金を活用した	50	89%
2. トライアル雇用助成金を活用した	1	2%
3. その他の助成制度を活用した	0	0%
4. 助成制度を活用しなかった（できなかった）	5	9%
5. 無回答	0	0%
	56	100%

活用できなかった理由の記載がある

2社

問5 「通年協促進支援事業」及び「事業内容」についてお伺いします。（○で囲んでください）

(1) 「帯広・南十勝通年雇用促進協議会」をご存知ですか。

1. 協議会を利用している	28	29%
2. 今後は利用する予定	4	4%
3. 協議会のことは知っているが、利用していない	58	60%
4. 協議会を知らない	6	6%
5. 無回答	1	1%
	97	100%

(2) 社会保険労務士が直接訪問し各種相談に対応する経営相談事業についてお尋ねします。

1. 活用したい	4	4%
2. 別機関に相談している	23	24%
3. 今後、検討する	24	25%
4. 相談する事柄がない	9	9%
5. 活用しない	24	25%
6. わからない	12	12%
7. 無回答	1	1%
	97	100%

(3) 通年雇用化をお考えの季節労働者に事業主の推薦により建設作業免許の無料講習に参加いただける事業についてお尋ねします。

1. 参加させたい	25	26%
2. 活用について検討する	29	30%
3. 通年雇用化は考えていない	12	12%
4. 活用しない	12	12%
5. わからない	13	13%
6. 無回答	6	6%
	97	100%

(4) 下記は協議会で実施予定の講習会です。貴社に働く季節労働者に勧めたい講習はありますか。

(複数回答可)

1. 車両系建設機械（整地）	37	9%
2. 車両系建設機械（解体）	17	4%
3. フォークリフト	16	4%
4. 小型移動式クレーン	36	8%
5. 玉かけ	37	9%
6. 不整地運搬車	20	5%
7. 高所作業車	21	5%
8. ガス溶接	7	2%
9. 足場の組立等	18	4%
10. 地山掘削及び土止め支保工作業主任者	26	6%
11. 型枠支保工の組立て等作業主任者	11	3%
12. コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	4	1%
13. はい作業主任者	4	1%
14. 採石のための掘削作業主任者	1	0%
15. アーク溶接	10	2%
16. チェーンソー	24	6%
17. ローラーの運転	16	4%
18. 巻上げ機の運転	2	0%
19. 足場の組立（特別教育）	11	3%
20. 刈払機	27	6%
21. 振動工具	12	3%
22. 職長教育	26	6%
23. 空撮系ドローン	7	2%
24. 農業系ドローン	4	1%
25. 危険物取扱者乙種4類	4	1%
26. パソコン講習	9	2%
27. ない	9	2%
28. 無記入	13	3%
	429	100%

問6 協議会への要望、事業内容への意見、経営上の悩みなど、どのようなことでも結構です。  
協議会へ皆さんの声を寄せてください。

記載がある

5社

## 【記述部分】

問1 (1) 貴社（事業所）の所在地はどこですか。

9. その他

- ・土幌町
- ・上土幌町

(2) 貴社（事業所）の業種は何ですか

15. その他

- ・種苗業
- ・障害福祉
- ・造園
- ・人材派遣
- ・町よりの委託業務
- ・草刈り等の施設の管理

(4) 貴社が抱えている経営の悩みや問題点についてお伺いいたします

14. その他

- ・監査が長引き、業務に支障が出ている

問2 貴社（事業所）の雇用状況についてお伺いします。

(3) 「拡大」「維持」と答えた事業所は対応策としてどのようなことを実施または検討していますか

6. その他

- ・インターンシップへの受け入れ
- ・会社紹介等の実施事業への参加
- ・人材紹介業者の利用
- ・学校訪問インターネットなど
- ・企業説明会参加
- ・SNS
- ・知人への紹介依頼
- ・ホームページ及びインターネットでの求人広告
- ・SNS発信
- ・SNS

問3 季節労働者の雇用についてお伺いします。

(3) 貴社（事業所）が季節労働者を雇用している理由についてお伺いします

8. その他

- ・仕事の確保が困難
- ・事業主高齢のため現状維持できればと思っている

(6) 季節労働者を通年雇用化するにあたり、重視することは何ですか。

8. その他

- ・冬季の仕事を安定的に確保する

(7) 雇用する季節労働者を通年雇用化する上で、貴社が必要と考える具体的な技能・資格についてお伺いします。

21. その他

- ・1級造園施工管理技士
- ・1級造園技能士
- ・とび技能士 (1.2級)
- ・2級機械
- ・1級土木管理技士
- ・現場に応じた

問4 貴社（事業所）における季節労働者の通年雇用化の状況についてお伺いします。

（2）通年雇用化した際の理由は何ですか。

5. その他

- ・ 本人の希望
- ・ 季節雇用していたが冬期も仕事があったため通年雇用となった。今年の冬の仕事の関係でまた季節雇用となるかもしれない
- ・ 業務的に、通年雇用者が必要だったため                      ・ 冬季業務量が増加したため
- ・ 本人希望                      ・ 本人の希望、若年（30代）だったので

（4）検討の結果、国の助成金制度（通年雇用助成金など）を活用しましたか。

4. 助成制度を活用しなかった（出来なかった）理由があればご記入ください。

- ・ 転種                      ・ 申請時期がずれたため

問6 協議会への要望、事業内容への意見や通年雇用化への課題や悩みなど、どのようなことでも結構です。協議会へ皆さんの声をお寄せください。

- ・ 良い人材が入ってほしいです。なかなか、人が集まらないのが悩みです。
- ・ 小さな会社は福利厚生に限界があるので充実させるのは厳しいです。
- ・ 通年雇用でも1～2年目くらいは使えるようになってほしいです。
- ・ 北海道では冬場は仕事なくなるので通年通して仕事の確保が難しく雇用も厳しい。本州の仕事も期間が短い時もあるので。
- ・ 事業主高齢のため、事業継続思案中です。
- ・ 大工の求人を出しても問い合わせもない。増員を希望しているが無理がある。